



JTGF

# YIT-W12

Wireless Transmitter for iPod  
Transmetteur sans fil pour iPod  
iPod用ワイヤレストランスミッター

Owner's Manual  
Mode d'emploi  
Bedienungsanleitung  
Bruksanvisning  
Manual di istruzioni  
Manual de instrucciones  
Gebruiksaanwijzing  
Инструкция по эксплуатации  
使用说明书  
사용 설명서  
取扱説明書

English

Français

Deutsch

Svenska

Italiano

Español

Nederlands

Русский

中文

한국어

日本語

ΛrWired™

Made for



iPod



iPhone



iPad

## 安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」を必ずお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

### ■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

### ■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
---	---

#### 分解禁止



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。

#### 設置



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

● 浴室・台所・海岸・水辺

● 加湿器を過度にきかせた部屋

● 雨や雪、水がかかるところ

水の混入により、火災や感電の原因になります。



医療機関の屋内など医療機器の近くで使用しない。  
電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。

禁止



心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用する。  
本機が発生する電波により、ペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

必ず実行

## 使用上のご注意



本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検や修理を依頼する。  
そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

必ず実行



本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ロウソクなどを置かない。  
水や異物が中に入ると、火災や感電の原因になります。接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因になります。

禁止



## 注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

## 設置



不安定な場所や振動する場所には設置しない。  
本機が落下や転倒して、けがの原因になります。

禁止



直射日光のあたる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばや車内など）には設置しない。  
本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因になります。

禁止



ほこりや湿気が多い場所に設置しない。  
ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因になります。

禁止



他の電気製品とはできるだけ離して設置する。  
本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

必ず実行



無線ネットワークを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線ネットワーク機器の近くへの設置を避ける。  
遮蔽物があると通信可能距離が短くなる場合があります。

禁止



機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。  
突然大きな音が出たり、感電したりすることがあります。

注意

## 使用上のご注意



環境温度が急激に変化する場所では使用しない。

本機に結露が発生することがあります。正常に動作しないときには、電源を入れない状態でしばらく放置してください。

## お手入れ



お手入れをするときには、必ず電源プラグを抜く。

感電の原因になります。

必ず実行



薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

禁止

## 本機の無線方式について

2.4XX4

「2.4」	2.4GHz 帯を使用する無線設備
「XX」	変調方式はその他の方式
「4」	想定干渉距離が 40m 以内
■■■■	全帯域を回避可能

## 無線に関するご注意

この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機を使用して iPhone を充電している際、本機が iPhone の電波に影響を及ぼす場合があります。また本機の電波と iPhone の電波はお互いに干渉する場合があります。もし通話時に不具合を感じた際は、iPhone を本機から取り外してご使用ください。

本製品は、電波法に基づく技術基準適合証明及び電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けた通信機器です。

製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書をよくお読みください。お読みになったあとは、保証書と共にいつでも見られるところに大切に保管してください。

## 保証書別添付

### 本書の記載について

- 本書は iPod、iPhone、iPad を総称して「iPod」と表記しています。説明文に限定する記載がない場合、「iPod」という表記は iPod、iPhone および iPad を意味します。
- 本書で使用されている記号

### ポイント

使用時の注意点や機能の制約が記載されています。

### ヒント

知っておくと便利な補足情報が記載されています。

## AirWired™

「エアワイヤード」「AirWired」は、ヤマハ株式会社の商標です。



「Made for iPod」、「Made for iPhone」、「Made for iPad」とは、それぞれ iPod、iPhone または iPad 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、これらの機器操作または、安全規制基準に関する一切の責任を負いません。本機を iPod、iPhone または iPad と使用する場合、無線通信の性能に影響する場合があります。

iPad、iPhone、iPod、iPod nano、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。

### Windows™

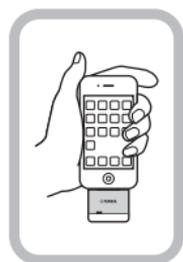
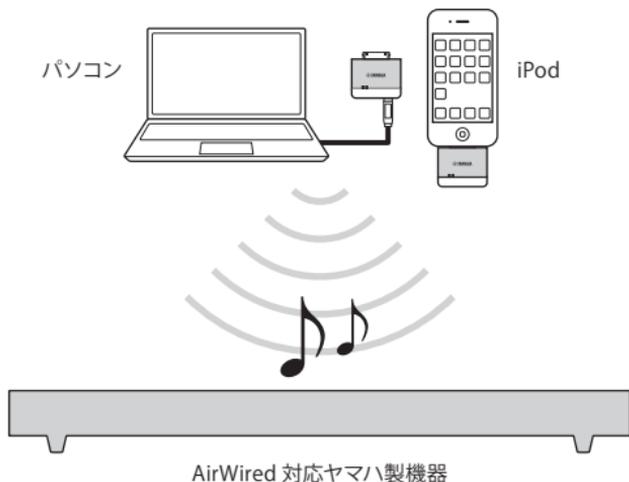
Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。Windows XP、Windows Vista、Windows 7 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。

## はじめに

YIT-W12 には、YIT-W12TX と専用 USB ケーブルが含まれています。YIT-W12TX は、iPod およびパソコン用のワイヤレストランスミッターです。ヤマハ「AirWired」技術により、別の AirWired 対応ヤマハ製機器（以下、ヤマハ製機器）と無線で接続して、iPod やパソコンの音声を再生できます。

また、付属の USB ケーブルを使ってパソコンに接続することで、トランスミッターに接続した iPod の充電や長時間の再生が可能になります。

対応している iPod やパソコン（オペレーティングシステム）については、「主な仕様」（9 ページ）をご覧ください。



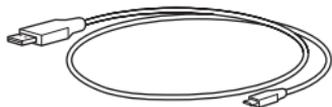
### ご注意

トランスミッター接続時に iPod を操作する場合は、左図のようにお持ちください。トランスミッター左下部の内蔵アンテナが手で隠れないようにしてください。無線信号が弱くなることがあります。

## 内容物を確認する



トランスミッター (YIT-W12TX)



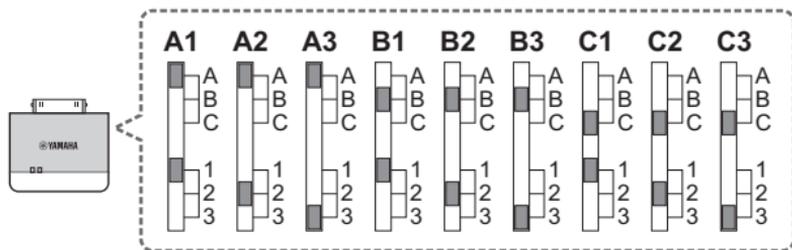
USB ケーブル (0.3m)

※ トランスミッターとパソコンの接続に  
使用します。(必ず付属の USB ケーブル  
を使用してください。)

## グループ ID を設定する

トランスミッターとヤマハ製機器を無線で接続するには、グループ ID を一致させる必要があります。お使いのヤマハ製機器のグループ ID にあわせて、トランスミッターのグループ ID を設定してください。

グループ ID スイッチ (トランスミッター側面)



ID	特長
A1 ~ A3、B1 ~ B3	音声の遅れが C1 ~ C3 より小さいです。
C1 ~ C3	パソコンの曲を再生するときに使います。

### ポイント

- グループ ID を変更するときは、直径 1mm 程度の先端がとがっていない金属の棒でスイッチを動かしてください。スイッチを動かすときに、けがをしないように注意してください。

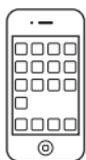


# iPod の曲を再生する

**1** トランスミッターとヤマハ製機器のグループ ID が一致していることを確認する。

**2** トランスミッターに iPod を接続する。

ヤマハ製機器と無線で接続されます。



(速い点滅：緑) iPod 認識中



(遅い点滅：緑) 無線接続準備中



(点灯：緑) 無線接続確立



(点滅：赤) iPod のバッテリー不足  
またはエラー表示 (7ページ)

**3** iPod で曲の再生を始める。

ヤマハ製機器の入力がトランスミッター (YIT) に切り替わり、iPod の音声が出力されます。

## ポイント

- iPod をトランスミッターから取り外す際は、ゆっくり上方に引き抜いてください。
- トランスミッターは iPod のバッテリーを電源として動作します。iPod のバッテリー残量がなくなった場合は、iPod を充電してください。また、トランスミッターを使わないときは、iPod をトランスミッターから取り外してください。接続したままにすると、iPod のバッテリー消費が早くなる場合があります。

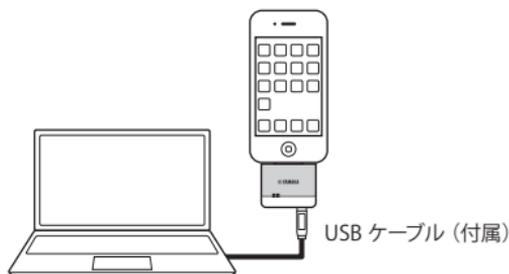
## ヒント

- ヤマハ製機器の電源が切れているときに iPod で再生を始めると、ヤマハ製機器の電源が自動的に入ります。
- ヤマハ製機器によっては、iPod の再生を停止してから一定の時間が経過すると、トランスミッターとヤマハ製機器の無線接続が自動的に切断され、ヤマハ製機器の電源が切れる場合があります。
- ヤマハ製機器と iPod のどちらを操作しても音量を調節できます。(ヤマハ製機器と iPod の音量は同期します。)
- ビデオを再生する場合は、映像は iPod の画面でお楽しみください。

## iPod の充電

付属の USB ケーブルを使って、トランスミッターをパソコンに接続すると iPod を充電できます。

充電中に、iPod の音声をヤマハ製機器で再生することもできます。

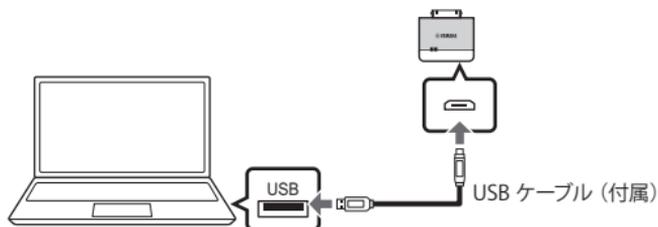


### ポイント

- ・パソコンの USB 端子（電源供給能力）によっては、充電できない場合があります。
- ・iPod によっては、パソコンに接続するとデータ同期が始まる場合があります。同期中は iPod の音声をヤマハ製機器で再生できません。同期が完了するまで待つか、必要に応じて同期を中止してください。

## パソコンの曲を再生する

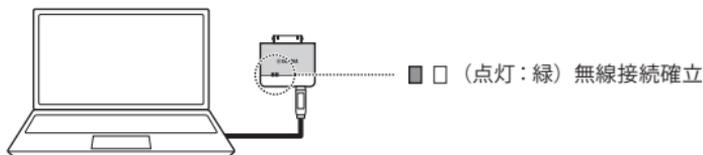
- 1 トランスミッターとヤマハ製機器のグループ ID (C1 ~ C3) が一致していることを確認する。
- 2 付属の USB ケーブルでトランスミッターをパソコンに接続する。



USB ドライバーがパソコンに自動的にインストールされます (初回のみ)。

### 3 パソコンで曲の再生を始める。

ヤマハ製機器と無線で接続されます。その後、ヤマハ製機器の入力がトランスミッター (YIT) に切り替わり、パソコンの音声が入力されます。



#### ポイント

- ・ ヤマハ製機器の電源を切るか、入力をトランスミッター以外に切り替えると、トランスミッターの動作が自動的に停止します。パソコンの音声をもう一度再生する場合は、トランスミッターをパソコンから取り外し、再度接続してください。
- ・ パソコンの音声がヤマハ製機器から出力されない場合、パソコンの音声出力デバイスとしてトランスミッターが選択されていない可能性があります。パソコンの音声出力設定をご確認ください。詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- ・ トランスミッターに iPod が接続されているときは、パソコンの音声をヤマハ製機器で再生できません。
- ・ トランスミッターとパソコンの接続に USB ハブを使用しないでください。

#### ヒント

- ・ ヤマハ製機器の電源が切れているときにパソコンで再生を始めると、ヤマハ製機器の電源が自動的に入ります。
- ・ ヤマハ製機器によっては、パソコンの再生を停止すると、トランスミッターとヤマハ製機器の無線接続が自動的に切断され、ヤマハ製機器の電源が切れる場合があります。
- ・ ビデオを再生する場合は、映像はパソコンの画面でお楽しみください。

## トランスミッターのファームウェアを更新する

機能の追加や不具合の改善に応じて、ファームウェアが更新されることがあります。ファームウェアは弊社ウェブサイトからダウンロードできます。定期的に弊社ホームページをご確認ください。

## 困ったときは

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記をご確認ください。  
対処しても正常に動作しない、または下記以外で異常が認められた場合は、お  
買い上げ店または巻末の「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。  
最初に以下の点を確認してください。

- ① お使いのヤマハ製機器の電源プラグが AC コンセントにしっかりと接続されている。
- ② トランスミッター、iPod のファームウェアが最新のバージョンになっている。

症状／原因	対策
<b>無線接続ができない（トランスミッターの緑色ランプが消灯している）</b>	
iPod がトランスミッターにしっかりと接続されていない。	iPod をトランスミッターに接続し直してください。
トランスミッターに接続している iPod のバッテリー残量がなくなった、または極端に少ない。	iPod を充電してください（5 ページ）。
付属の USB ケーブルがトランスミッター（またはパソコン）にしっかりと接続されていない。	USB ケーブルを接続し直してください。
非対応のパソコン（オペレーティングシステム）を使用しているため、USB ドライバーが正しくインストールされていない。	対応パソコン（オペレーティングシステム）を使用してください（9 ページ）。
<b>無線接続ができない（トランスミッターの緑色ランプが点滅している）</b>	
トランスミッターとヤマハ製機器のグループ ID が異なっている。	トランスミッターとヤマハ製機器を同じグループ ID に設定してください（3 ページ）。
非対応の iPod を使用しているため、認証されなかった。 （この場合、iPod を接続してから 30 秒後にトランスミッターの赤色ランプが点滅します。）	対応 iPod を使用してください（9 ページ）。対応 iPod を使用しているのに認証されない場合は、iPod をトランスミッターに接続し直してください。頻繁に発生する場合は、iPod をトランスミッターから取り外し、iPod の電源を入れ直してから再度接続してください。
iPod とトランスミッター間に通信エラーが発生している。 （この場合、iPod を接続してから 30 秒後にトランスミッターの赤色ランプが点滅します。）	iPod をトランスミッターに接続し直してください。頻繁に発生する場合は、iPod をトランスミッターから取り外し、iPod の電源を入れ直してから再度接続してください。

周囲に 2.4GHz 帯を使用している機器がある（電子レンジ、コードレス電話、Wi-Fi 機器など）。	該当機器をトランスミッターおよびヤマハ製機器から離すか、無線機器の電源を切ってください。無線ルーターをお使いの場合は、ルーターのチャンネルを上端のチャンネル（13ch など）に設定してください。
---	---

### 無線接続が確立されているのに、ヤマハ製機器から音が出ない

ヤマハ製機器の音量が小さい。	音量を上げてください。
ヤマハ製機器が消音されている。	消音を解除してください。
ヤマハ製機器の入力がトランスミッター（YIT）になっていない。	入力をトランスミッター（YIT）に切り替えてください。
iPod にヘッドホンが接続されている。	ヘッドホンを iPod から取り外してください。
パソコンの音声出力デバイスとしてトランスミッターが選ばれていない。	パソコンの音声出力設定を確認し、パソコンの音声出力デバイスとしてトランスミッターを選んでください。（トランスミッターの表示名はオペレーティングシステムにより異なります。）

### 音が途切れる（トランスミッターの緑色ランプが点滅している）

トランスミッターがヤマハ製機器から離れすぎている。	トランスミッターをヤマハ製機器に近づけてください。
トランスミッターの電波が人体や金属、壁などで遮られている。	電波が遮られないように、トランスミッターの位置を調整してください。
周囲に 2.4GHz 帯を使用している機器がある（電子レンジ、コードレス電話、Wi-Fi 機器など）	該当機器をトランスミッターおよびヤマハ製機器から離すか、無線機器の電源を切ってください。無線ルーターをお使いの場合は、ルーターのチャンネルを上端のチャンネル（13ch など）に設定してください。

### iPod の音がヤマハ製機器から出ない

iPod がトランスミッターにしっかりと接続されていない。	iPod をトランスミッターに接続し直してください。
-------------------------------	----------------------------

### iPod とヤマハ製機器の音量が同期しない

iPod がトランスミッターにしっかりと接続されていない。	iPod をトランスミッターに接続し直してください。
-------------------------------	----------------------------

### パソコンの音がヤマハ製機器から音が出ない

C1～C3以外のグループIDが設定されている状態で、パソコンの音声を再生しようとしている。	トランスミッターとヤマハ製機器のグループIDをC1～C3のいずれかに設定してください(3ページ)。
<b>iPhoneの着信音がヤマハ製機器から出力される</b>	
iPhoneをトランスミッターに接続している際に着信があった。	着信音を出力したくない場合は、iPhoneをマナーモードに設定してください。
<b>Wi-Fi機器の通信が不安定になる</b>	
トランスミッターの電波がWi-Fi通信に干渉している。	トランスミッターをWi-Fi機器から離してください。頻繁に発生する場合は、iPod(またはパソコンと接続したUSBケーブル)をトランスミッターから取り外し、しばらく待ってから接続し直してください。

## 主な仕様

項目	トランスミッター (YIT-W12TX)
対応 iPod/iPhone/iPad * 2012年6月現在	iPod touch (1st, 2nd, 3rd and 4th generation) iPod nano (3rd, 4th, 5th and 6th generation) iPhone 4S, iPhone 4, iPhone 3GS, iPhone 3G, iPhone iPad (3rd generation), iPad 2, iPad
対応パソコン (オペレーティングシステム) * 2012年6月現在	Windows 7、Windows Vista、Windows XP Mac OS X (10.6以降)
消費電力	0.3W以下
許容通過電流	2.1A以下
接続端子	ドックコネクタ、Micro USB
サンプリング周波数	48kHz (iPod/iPhone/iPad 接続時) 32kHz、44.1kHz、48kHz (パソコン接続時)
周波数帯域	2.4GHz 帯
通信距離	接続するヤマハ製機器の取扱説明書をご覧ください。
伝送遅延	グループID (A/B) : 12msec、グループID (C) : 50msec
寸法 (幅×高さ×奥行き)	40 × 38.5 × 10mm
質量	10.3g

\* 仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

## お問い合わせ窓口

### ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

#### ■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口



0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

#### ■ホームシアター・オーディオサポートメニュー

お客様からお寄せいただくよくあるお問い合わせをまとめました。  
ぜひご覧ください。

<http://jp.yamaha.com/support/audio-visual/>

### ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

#### ■ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。  
TEL (053) 460-4830

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00  
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

#### FAXでのお問い合わせ

北海道、東北、関東、甲信越地域にお住まいのお客様  
(03) 5762-2125

九州、沖縄、中国、四国、近畿、東海、北陸地域にお住まいのお客様  
(06) 6465-0367

#### 修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

#### 東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
京浜トラックターミナル14号楼A-5F  
FAX (03) 5762-2125

#### 西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6-2-82  
ユニバーサル・シティ和幸ビル9F  
FAX (06) 6465-0374

#### 名古屋サービスステーション

〒454-0832 名古屋市中川区清船町4丁目1-11  
ピアノ運送(株)名古屋営業所1F  
FAX (052) 363-5903

#### 九州サービスステーション

〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4  
FAX (092) 472-2137

\*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

## 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

#### ●保証期間

製品に添付されている保証書をご覧ください。

#### ●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

#### ●保証期間が過ぎているとき

修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

#### ●修理料金の仕組み

**技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。

**部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

**出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

#### ●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

#### ●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼されるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品番、製造番号は製品の背面もしくは底面に表示してあります。

#### ●スピーカーの修理

スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動素子と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの進による音色の違いが出る場合があります。

#### ●摩耗部品の交換について

本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。

本機を未永く安定にご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをおすすめします。摩耗部品の交換は必ずお買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターへご相談ください。

#### 摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

### 永年ご使用の製品の点検を!



愛情点検

#### こんな症状はありませんか?

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コグくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズが変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じない。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



#### すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。  
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中区中沢町10-1

